



商店街で買い物を楽しむ参加者

道の駅国見あつかしの郷から巡る 秋のくにみご案内 week ♪ を開催

10月28日から11月12日まで、道の駅から秋のくにみの見どころをご案内する「秋のくにみご案内 week ♪」を開催しました。

訪れた方々は、特設ブースのパネル展示や周遊バスツアーにより町が育んできた1000年の歴史と文化に触れ、意外な魅力を発見するとともに、くにみ流のおもてなしを満喫していました。



寄贈ありがとうございました

国見ライオンズクラブから道の駅へ 町産の木製ベンチを寄贈

国見ライオンズクラブは、道の駅国見あつかしの郷に木製ベンチを2基寄贈し、贈呈式が11月15日に行われました。

贈呈式では、村木長一同クラブ会長から太田久雄町長に目録が手渡され、村木会長が「ベンチは町産木材を使用。みなさんに愛着を持って使って欲しいです」とあいさつし、太田町長が「まごころあるご支援に感謝します」と謝意を述べました。



国見自慢の食材で料理を作る参加者

国見自慢の“食”を通して交流 秋のお料理交流会 in 東京

秋のお料理交流会 in 東京が11月18日、東京都千代田区のキッチンスタジオで行われ、国見町在住・在勤の男性10人と首都圏の女性11人が参加し、料理を作りながら交流しました。

交流会では国見産の旬の食材を使用。女性の参加者からは「国見町の野菜や果物はどれも甘味があっておいしい」と好評で、国見の魅力舌を味わいながら、交流を楽しんでいました。



無火災と消防団員の安全を祈願

地域防災の新しい拠点に 石母田新消防屯所が完成

国見町消防団第2分団第2部の新屯所の完成を記念して、無火災祈願および落成式が11月19日に同屯所で行われました。

落成式に先立ち行われた無火災祈願では、太田久雄町長や佐藤誠町消防団長らが玉串を奉奠し、無火災を祈願。落成式では、太田町長が「新屯所を拠点として、町民の安全安心のためにさらなるご尽力をお願いします」と祝辞を述べました。



あんぼ柿作りを体験

旬の味覚と“くにみ流のおもてなし”を堪能 国見町女性応援団ツアー

国見町女性応援団ツアーが11月24日と25日の2日間にわたり行われ、首都圏の女性41人が参加しました。

参加者は、町特産のあんぼ柿作りやリンゴ狩りを体験し、国見の秋の味覚を堪能。道の駅国見あつかしの郷では生産者や国見のお母さんたちとの交流会が行われ、国見自慢の「食」のおいしさと安全性に対する理解を深めていました。



大会に参加した大木戸地区のみなさん

スポーツを通して交流 大木戸地区ソフトボール大会

大木戸スポーツ振興会（渡辺正弘会長）主催による第3回大木戸地区ソフトボール大会が10月15日、上野台運動公園で行われ、大木戸地区のみなさん約60人が参加しました。

大会には小学生から大人まで幅広い世代が参加し、地区ごとに編成した3チームによる熱戦が繰り広げられました。秋空の下、参加者はさわやかな汗を流し、交流を深めました。



太田町長(左)に受賞を報告する武田正裕保健福祉課長(右)

収納率が優良として 福島県後期高齢者医療広域連合表彰受賞

国見町は10月26日、後期高齢者医療保険料の収納率が優良として、福島県後期高齢者医療広域連合より保険料完納表彰を受賞しました。

受賞は、平成27年度から2年連続で後期高齢者医療保険料完納の実績が評価されたもの。町では、今後も適切な収納事務に努め、高齢者福祉の増進に取り組んでいきます。



太田町長(左)に受賞を報告する佐藤さん(右)

社会教育の発展に尽力 佐藤富子さんが教育・文化関係表彰受賞

福島県教育委員会の教育・文化関係表彰において社会教育功労者に選ばれた佐藤富子さんが11月1日、国見町役場を訪れ、太田久雄町長に受賞を報告しました。

佐藤さんは、町社会教育委員や指導員などを長く務められ、社会教育事業に尽力されました。受賞について、「家族をはじめ、支えてくれたみなさんのおかげです」と喜びを語りました。



国見産のリンゴをPRする太田町長ら

国見自慢の秋の味覚をPR 羽村市産業祭に参加

国見町は11月4日と5日、物産交流を続けている東京都羽村市で開催された「第48回羽村市産業祭」に参加しました。

産業祭には、太田久雄町長はじめ、果物生産者、町商工会青年部、ミスピーチらが参加。リンゴやサトイモなど旬の果物・野菜のほか、桃の入浴剤や商工会青年部企画の「923(くにみ)Tシャツ」などをPR販売し、多くの来場者で賑わいました。



花と緑あふれる街を目指します

ふくしまを花で飾ろう 道の駅に“市町村の花”の花壇が誕生

花と緑いっぱいのふるさとづくりプロジェクト“市町村の花”の花壇完成セレモニーが11月8日、道の駅国見あつかしの郷で行われました。

セレモニーでは菅野厚福島民友新聞社常務取締役、太田久雄町長、引地真道の駅総支配人、くにみ幼稚園児らがネモトシャクナゲとモモを記念植樹し、園児が「お花いっぱいうれしい気持ちになってほしいです」と花いっぱいの街づくりを宣言しました。